

Mito City International Association

(財)水戸市国際交流協会機関紙

友好交流都市提携1周年記念 中国・重慶展と国際交流のつどい

水戸市と中国重慶市は、2000年6月6日に友好交流都市を提携しました。2月16日と17日には、提携1周年を記念して、「中国・重慶展と国際交流のつどい」を水戸市国際交流センターで開催しました。

この「中国・重慶展と国際交流のつどい」は、重慶市について広く紹介し、市民の皆さんに重慶市を身近に感じていただくとともに、あわせて国際交流団体の活動を紹介することにより、市民の国際交流活動を推進し、国際感覚豊かな市民性を育むことを目的として水戸市と共催で行ったものです。

会場では、重慶市の様子や水戸市と重慶市の交流経緯紹介のパネル展、各国際交流団体のパネル展示による活動紹介のほか、16日にはアジアン・パーティー、中国茶の試飲、17日は中国茶



についての講演、重慶の名物料理の実演・試食会や中国茶の試飲なども行われ、2日間で約1,000人の来場者でにぎわいました。

また、水戸芸術館を会場に水戸市と重慶市の子供たちによる書道作品展も開催され、11日間で3,300名の来場者がありました。

中国・重慶展と国際交流のつどい



アジアン・パーティー

中国からの留学生25名が、それぞれに自分の国の自慢料理をつくり、「広報みと」で募集した85名の市民の皆さんと一緒に手作りの中国料理を味わいました。その後アトラクションに移り、留学生が来日時の苦労話を紹介、また中国京劇の歌を披露したり、パーティー参加者と一緒に日本の歌を合唱したりなどして交流を深め、楽しい時間を過ごしました。



重慶火鍋と四川料理実演・試食会

中国の食文化の紹介するため、四川省出身の除健偉さんが重慶の名物料理「火鍋」をはじめ麻婆豆腐などの四川料理を実演し、会場は書道コンクール入賞者と家族や中国茶の講演会の参加者をはじめ多くの中国ファンであふれるほどでした。用意された料理は短時間でなくなってしまう、試食した人々は「辛いけどやはり本場の味は違う」などと中国の味を満喫していました。



中国茶についての講演会

日本紅茶協会認定シニア・ティーインストラクターの先崎キヨ子さんの「お茶のふるさとー中国茶をたずねて」と題した講演会には、150名が参加しました。「中国というウーロン茶が有名ですが、緑茶も紅茶も中国が発祥の地で、中国で一番多くの人に親しまれているのは緑茶です」などお茶に関する歴史の話のあと、参加者全員が珍しい中国茶を試飲し、お茶の奥深さを感じていました。



国際交流団体活動紹介展

国際交流センターで活動している水戸ユネスコ協会、メサフレンドシップ、WYCCI、日本ユニセフ協会水戸の会、日本バングラデシュ文化交流会、フレンドリーネイバーフッドの各団体と水戸市国際交流協会、水戸市が、その交流活動を紹介するパネル展示を行い、多くの来場者が熱心に見入っていました。



水戸市と重慶市の子供たちによる書道作品展

日本と中国の共通の文化である書道を通じ友好交流の輪が広がることを願って、市内の小学3年～中学3年生を対象に書道コンクールを行い、各校から223点が寄せられました。これらの作品と重慶市から寄贈された作品40点を展示した作品展を水戸芸術館で開催しました。

重慶広場がオープン

1月31日、千波湖畔さくら広場の一角に「重慶広場」が誕生し、岡田広水戸市長や陳消重慶市外事弁公室主任など関係者により記念碑の除幕式が行われました。この地は、1993年にグリーンフェアが開催された際、重慶市の協力で恐竜の化石を展示した水戸市のパビリオンの跡地です。広場の記念碑には両市民の友情と発展を誓う言葉が刻まれており、友好交流のあかしとして次世代に引き継がれていきます。

重慶市のプロフィール

重慶市は中国西南地区に位置しています。北京、上海、天津と並ぶ直轄市で、40の区、市、県を管轄しています。面積は82,400km²、人口3,090万人（そのうち都市部は600万人）で、亜熱帯性気候に属し、年平均気温18℃、年間降雨量1,000mmです。

長江（揚子江）と嘉陵江に囲まれた丘陵地に開けたまちで、起伏の多いところから「山城」とも呼ばれ、3000年以上の歴史をもつ古都です。多くの名所旧跡があり、石刻造像が50,000体以上もある大足石窟は世界遺産に登録されています。

また、重慶市には国際空港があり、四方八方に伸びている鉄道、自動車道路及びゴールド水路と呼ばれる長江があり、自動車・バイクなどの機械、冶金、化学工業をはじめとする工業が盛んな中国西南地区最大の商工業都市です。





「世界の文化と料理」講座に参加して

はじめて水戸市国際交流センターを訪れ、水戸市国際交流協会と子育て応援・ペンギンくらぶ共催による保育つき講座に参加しました。

1月12日(土)から6回の開催で、エジプトの文化をレハブ・ファド・アブドエルハミドさんを講師に、フィリピンの文化を森メリスンさんから学びました。

内容は、言語や歴史、習慣、子育て環境の違いなど、わかりやすく教えてください、久しぶりに生活の異なる文化に触れました。他に参加したお母さん方の質問が活発だったのは印象的でした。

そして和気あいあいと盛り上がったのは料理講習のときで、炒めものやスープなどの家庭料理をおいしく食べました。はじめて使う食材や香辛料があるので、レシピがあっても分量の加減がわからず先生は各テーブルにひっぱりだこでした。

今回はお腹を満ち、母国の方のお話を聞くというぜいたくな機会をいただき楽しかったです。お話の中で、両国とも6歳から英語を勉強することが一致していました。日本も今年から小学生の英語教育が始まります。私自身も親として、子供の未来にかかわる国際社会に広く目を向けていきたいです。

三塚 晶子

INFORMATION

水戸市国際交流協会 インターネットホームページ

水戸市国際交流協会のホームページを開設しています。皆さんのアクセスをお待ちしています。

(アドレス<http://www.mitoic.or.jp/>)

インターネット利用サービス

国際交流センター2階にコンピュータを設置しています。インターネット、コンピュータのワープロ・ソフト、表計算ソフトなど、いずれも30分100円で利用できます。

どうようサロン

毎週土曜日の午後国際交流センター2階で開催しています。お茶を飲みながら、世界各国の皆さんとおしゃべりしてみませんか。外国からの皆さんには、3分間無料で利用できる国際電話「ふるさとでんわコーナー」もあります。予約の必要はありません。当日、直接会場へおいでください。

『CITY MAP MITO』及び 『水戸の生活ガイドブック』

英文版水戸市地図『CITY MAP MITO』及び外国人が水戸での生活に役立つ情報を掲載した『水戸の生活ガイドブック』(日英併記)を差し上げています。無料ですので、ご希望の方は当協会までご連絡ください。

この機関紙は非木材紙(ケナフ100%)を使用しております。地球環境に優しい「大豆油インキ」を使用して印刷しております。
(Printed by KOWA PRINTING Co.LTD.)



相談受付

相談者は外国人、日本人を問いません。秘密厳守で応じています。直接国際交流センター事務室へおいでください。また、電話やEメールでも受け付けています。

機関紙へのご意見をお待ちしています。機関紙のコーナー、特集で取り上げて欲しい記事など、何でもお寄せください。

〒310-0024 水戸市備前町6-59

水戸市国際交流センター内
(財)水戸市国際交流協会

Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793

E-mail:mcia@mito.ne.jp

水戸市国際交流センター案内図 Area Map & Transportation Guide

